

## レンザー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : レンザー

他の特定手段 : LENZAAR 80WP (M)  
VARAPE (M)  
VENZAR (NOMINAL) (M)

#### 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : エフエムシー・ケミカルズ株式会社

住所 : 東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビル8階 100-0004

電子メールアドレス : SDS-Info@fmc.com

緊急連絡電話番号 : 漏出、火災、流出、事故の緊急事態については、以下に電話してください。  
045-224-4303 (HAZMAT Emergency Response Centre)

緊急連絡先:  
03 5208 1010

#### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 除草剤としてのみ使用できます。

使用上の制限 : ラベルで推奨されているとおりに使用してください。

### 2. 危険有害性の要約

#### 化学品の GHS 分類

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 1

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 1

#### GHS ラベル要素

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-  
1.1 2022/08/04 50000147 初回作成日: 2018/05/01

絵表示又はシンボル

:



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

:

**安全対策:**

P273 環境への放出を避けること。

**応急措置:**

P391 漏出物を回収すること。

**廃棄:**

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

## 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
レナシル	2164-08-1	80	5-914
ジイソプロピルナフタリンスルホン 酸ナトリウム	1322-93-6	>= 1 - < 2.5	4-473

## 4. 応急措置

一般的アドバイス

: 危険域から避難させる。  
この安全データシートを担当医に見せる。  
被災者を一人にしない。

吸入した場合

: 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

: 刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。  
石けんと水で洗い流す。

眼に入った場合

: 予防措置として、水で眼を洗浄する。  
コンタクトレンズをはずす。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

損傷していない眼を保護する。  
洗浄中は眼を大きく開ける。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

飲み込んだ場合 : 気道を確保する。  
牛乳やアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。

応急措置をする者の保護 : 吸入、摂取および皮膚と眼への接触を避ける。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。  
この安全データシートを医師に提示すると役立つ場合があります。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)  
粉末消火剤  
粉末  
泡消火剤

使ってはならない消火剤 : 棒状注水を避ける

特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

有害燃焼副産物 : 炭素酸化物  
窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)

特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。  
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。

消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 安全な場所に避難する。  
こぼれたものに触れたり、歩いたりしないでください。  
粉塵の発生を避ける。  
安全に実行できる場合は、リークを停止します。  
保護具を使用する。

環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。

## レンザー

版番号 1.1 改訂日 2022/08/04 整理番号 50000147 前回改訂日: -  
初回作成日: 2018/05/01

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。  
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 回収したものの使用を避けるために、製品の容器に戻してはならない。  
粉塵を発生させることなく、適切にラベル付けされた容器に拾い上げて移します。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

火災及び爆発の予防 : 粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。

安全取扱注意事項 : 個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。

接触回避 : 強酸化剤  
強酸と強アルカリ

衛生対策 : 休憩前や終業時には手を洗う。

## 保管

安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。  
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。  
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

保管安定性に関する詳しい情報 : 乾燥した場所に保管する。  
指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
kaolin	1332-58-7	OEL-C (吸入性粉じん)	0.03 mg/m <sup>3</sup> (シリカ)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 吸入性結晶質シリカおよび吸入性粉塵は以下の捕集率 R (dae) で捕集された粒子の質量濃度である。 $R(dae) = 0.5 [1 + \exp(-0.06dae)] [1 - F(x)]$ dae: 空気動力学				

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-  
1.1 2022/08/04 50000147 初回作成日: 2018/05/01

	<p>的粒子径 (<math>\mu\text{m}</math>) , <math>F(x)</math> : 標準正規変数の累積分布関数 <math>x = \ln(\text{dae}/\Gamma) / \ln(\Sigma)</math> , <math>\ln</math> 自然対数, <math>\Gamma = 4.25 \mu\text{m}</math>, <math>\Sigma = 1.5</math>, 発がん以外の健康影響を指標として許容濃度が示されている物質. III. 発がん性分類の前文参照, 発がん物質, 「第1群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である. この群に分類される物質は, 疫学研究からの十分な証拠がある.</p>			
		OEL-M (吸入性粉じん)	0.5 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 第1種粉塵			
		OEL-M (総粉じん)	2 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 第1種粉塵			
		TWA (呼吸濃度)	2 mg/m <sup>3</sup>	ACGIH

**保護具**

呼吸用保護具 : 適切な局所排気装置がない場合、あるいは、暴露評価によって、暴露量が推奨暴露ガイドライン以下であることが証明されない限り、呼吸用保護具を着用すること。

フィルタータイプ : 微粒子用タイプ  
粉じんおよびエアゾール形成の場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

手の保護具  
材質 : バリアラミネート、ブチルゴム、ニトリルゴムなどの耐薬品性手袋を着用してください。

備考 : 製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル  
密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 微粒子不浸透性保護服  
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

保護対策 : この製品を使用する前に、応急措置方法を検討しておく。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態 : 水和性粉末

色 : 類白色

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

臭い	: なし
臭いのしきい(閾)値	: 未定
融点/ 範囲	: 融解前に分解。
可燃性 (固体、気体)	: この製品は GHS 分類の可燃性ではない。
引火点	: 非該当
自己発火性	: 約 288 - C
分解温度	: > 270 - C
pH	: 7.0 (25 - C) 含有量: 10 grm/l
かさ密度	: 555 kg/m <sup>3</sup>
溶解度	
水溶性	: 0.003 grm/l 実質的に水に不溶 (25 - C)
溶媒に対する溶解性	: 未定
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: 非該当
密度及び／又は相対密度 比重	: この混合物に関しては得られていない。
爆発特性	: 非爆発性
酸化特性	: 製品は酸化性ではない。

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
危険有害反応可能性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

## レンザー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

- い。  
粉じんは空気中で爆発性の混合物を生成することがある。
- 避けるべき条件 : 長時間にわたり空気または湿気に触れる。  
熱、炎、火花。  
粉塵の発生を避ける。
- 混触危険物質 : 強酸化剤  
強酸と強アルカリ
- 危険有害な分解生成物 : 炭素酸化物  
窒素酸化物 (NOx)

## 11. 有害性情報

**急性毒性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**製品:**

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 423  
GLP: 該当  
備考: 情報源: 内部試験報告書  
(製品自体のデータ)
- 急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 4.96 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: ダスト/噴霧  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。  
備考: 情報源: 内部試験報告書  
(製品自体のデータ)
- 急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 402  
GLP: 該当  
備考: 情報源: 内部試験報告書  
(製品自体のデータ)

**成分:****レナシル:**

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 423  
備考: 情報源: 内部試験報告書
- 急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 5.12 mg/l  
曝露時間: 4 h

## レンザー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

試験環境: ダスト/噴霧  
方法: OECD 試験ガイドライン 403  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。  
備考: 情報源: 内部試験報告書

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 5,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 402  
備考: 情報源: 内部試験報告書

**ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, メス): > 300 - 2,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 423

**皮膚腐食性/刺激性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**製品:**

種 : ウサギ  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
結果 : 皮膚刺激なし  
GLP : 該当  
備考 : 情報源: 内部試験報告書  
(製品自体のデータ)

**成分:****レナシル:**

種 : ウサギ  
アセスメント : 刺激性物質には分類されていない。  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
結果 : 皮膚刺激なし  
備考 : 情報源: 内部試験報告書

**ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:**

種 : 再生ヒト表皮 (RhE)  
方法 : OECD 試験ガイドライン 431  
結果 : 4 時間以下の暴露で腐食性

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**製品:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし  
方法 : OECD 試験ガイドライン 405



## レンザー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

GLP : 該当  
備考 : 情報源: 内部試験報告書  
(製品自体のデータ)

**成分:****レナシル:**

種 : ウサギ  
アセスメント : 眼への刺激なし  
方法 : OECD 試験ガイドライン 405  
備考 : 分類閾値以下の最小限の影響。  
情報源: 内部試験報告書

**ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:**

種 : ウシ角膜  
結果 : 眼に対する不可逆的影響  
方法 : OECD 試験ガイドライン 437

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**呼吸器感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**製品:**

試験タイプ : ビューラー法  
種 : モルモット  
方法 : OECD 試験ガイドライン 406  
結果 : 動物実験では、皮膚の接触による感作性を示さなかった。  
備考 : 情報源: 内部試験報告書  
(製品自体のデータ)

**成分:****レナシル:**

暴露の主経路 : 皮膚接触  
種 : モルモット  
アセスメント : 皮膚感作物質ではない  
方法 : OECD 試験ガイドライン 406  
結果 : 皮膚を過敏化させない。  
備考 : 情報源: 内部試験報告書

**ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:**

試験タイプ : ペプチド結合性試験 (DPRA)  
方法 : OECD 試験ガイドライン 442C

## レンザー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

結果 : 皮膚を過敏化させない。

**生殖細胞変異原性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:****レナシル:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : バクテリアまたは哺乳類培養細胞を用いた試験において遺伝子の突然変異作用は発現しなかった。

**ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 復帰突然変異試験  
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在  
方法: OECD 試験ガイドライン 471  
結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 備考: データなし

**発がん性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:****レナシル:**

結果 : 陰性

**生殖毒性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:****レナシル:**

生殖毒性 - アセスメント : 動物実験では繁殖力への影響は無かった。  
動物実験では退治発育への影響は無かった。

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**反復投与毒性****成分:****レナシル:**

種 : ラット  
投与経路 : 経口

## レンザー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

曝露時間	: 90 d
方法	: OECD 試験ガイドライン 408
症状	: 肝臓への影響
種	: マウス
投与経路	: 経口
曝露時間	: 90 d
方法	: OECD 試験ガイドライン 408
症状	: 肝臓重量の増加
種	: 犬
投与経路	: 経口
曝露時間	: 90 d
方法	: OECD 試験ガイドライン 408
症状	: 肝臓への影響, 膀胱への影響

**ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:**

備考 : データなし

**誤えん有害性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:****レナシル:**

当該物質には、吸引性呼吸器有害性の可能性に関連する特性はない。

**詳細情報****製品:**

備考 : データなし

**12. 環境影響情報****生態毒性****製品:**

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 2.63 mg/l  
曝露時間: 96 h  
試験タイプ: 止水式試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 203  
備考: 情報源: 内部試験報告書  
(製品自体のデータ)

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 3.53 mg/l  
に対する毒性  
曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 202

## レンザー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

備考: 情報源: 内部試験報告書  
(製品自体のデータ)

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (*Selenastrum capricornutum* (緑藻)): 0.0084 mg/l  
曝露時間: 72 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201  
GLP: 該当  
備考: (製品自体のデータ)  
情報源: 内部試験報告書

地上生物に対する毒性 : LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): > 100 µg/b  
曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 214  
備考: 接触  
(製品自体のデータ)  
情報源: 内部試験報告書

LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): > 100 µg/b  
曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 213  
備考: 経口  
(製品自体のデータ)  
情報源: 内部試験報告書

**成分:****レナシル:**

魚毒性 : LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): > 2 mg/l  
曝露時間: 96 h  
試験タイプ: 止水式試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 203  
備考: 情報源: 内部試験報告書

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): > 8.4 mg/l  
に対する毒性  
曝露時間: 48 h  
試験タイプ: 止水式試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 202  
備考: 情報源: 内部試験報告書

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 0.016 mg/l  
曝露時間: 96 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201  
備考: 情報源: 内部試験報告書

ErC50 (ナヴィクラ・ペリクローサ (珪藻)): 0.096 mg/l  
曝露時間: 72 h

ErC50 (*Lemna gibba* (イボウキクサ)): 0.029 mg/l

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

曝露時間: 7 d  
方法: OECD 試験ガイドライン 221  
備考: 情報源: 内部試験報告書

最大無影響濃度 (Lemna gibba (duckweed)): 0.0088 mg/l  
曝露時間: 7 d

M-ファクター (水生環境有害 : 10  
性 短期 (急性))

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 0.16 mg/l  
曝露時間: 90 d  
方法: OECD 試験ガイドライン 210  
備考: 情報源: 内部試験報告書

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.48 mg/l  
に対する毒性 (慢性毒性)  
曝露時間: 21 d  
備考: 情報源: 内部試験報告書

M-ファクター (水生環境有害 : 10  
性 長期 (慢性))

土中生物に対する毒性 : LC50 (Eisenia fetida (ミミズ)): > 1,000 mg/kg  
曝露時間: 14 d  
方法: OECD 試験ガイドライン 207  
備考: 情報源: 内部試験報告書

地上生物に対する毒性 : LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): >1 µg/bee  
曝露時間: 48 h  
方法: US EPA 試験ガイドライン OPP 141-1  
備考: 情報源: 内部試験報告書

LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): 25 µg/bee  
曝露時間: 48 h  
方法: US EPA 試験ガイドライン OPP 141-1  
備考: 情報源: 内部試験報告書

LD50 (Anas platyrhynchos (マガモ)): > 2,000 mg/kg  
方法: US EPA 試験ガイドライン OPP 71-1  
備考: 情報源: 内部試験報告書

LC50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): > 5,000 mg/kg  
曝露時間: 5 d  
方法: US EPA 試験ガイドライン OPP 71-2  
備考: 情報源: 内部試験報告書

#### ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 72 mg/l

## レンザー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

## に対する毒性

曝露時間: 48 h  
試験タイプ: 止水式試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類／水生生物に対する毒性 : EC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (セレナストラム・カプリコルナタム) ): > 100 mg/l

曝露時間: 72 h  
試験タイプ: 止水式試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 201

最大無影響濃度 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (セレナストラム・カプリコルナタム) ): 10 mg/l

曝露時間: 72 h  
試験タイプ: 止水式試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 201

## 残留性・分解性

成分:

## レナシル:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。  
備考: 物質/製品は環境中で適度に持続します。

## ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:

生分解性 : 接種: 活性汚泥 (未馴化)  
結果: 易分解性ではない。  
生分解: 2 %  
曝露時間: 21 d  
方法: OECD 試験ガイドライン 301D

## 生体蓄積性

成分:

## レナシル:

生体蓄積性 : 備考: 生体内蓄積の可能性が低い

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 1.70 (25 - C)  
(log 値)

## ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: > 2.6 (20 - C)  
(log 値)

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

**土壌中の移動性****成分:****レナシル:**

環境中の分布 : 溶媒: 土壌  
備考: 土壌中で中程度に移動する

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響****製品:**

PBT および vPvB の評価結果 : この混合物には、残留性、生物濃縮性および毒性がある (PBT) 物質は含まれていない。この混合物には、極めて高い残留性および極めて高い生物蓄積性の (vPvB) 物質は含まれていない。

生態系に関する追加情報 : 環境の予防措置に関する、取り扱いの追加説明は製品ラベルを参照する。  
特記すべき生態学的影響は他にない

職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。  
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。  
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。  
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする  
製品入り容器と同様に処分する。  
空の容器を再使用しない。

**14. 輸送上の注意****国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

国連番号 (UN number) : UN 3077  
国連輸送名 (Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S.  
(Lenacil)

## レンザー

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

国連分類 (Class) : 9  
副次危険性 (Subsidiary risk) : ENVIRONM.  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : 9 (ENVIRONM.)

**航空輸送 (IATA-DGR)**

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 3077  
国連輸送名 (Proper shipping name) : Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s.  
(Lenacil)

国連分類 (Class) : 9  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : その他  
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 956  
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 956  
環境有害性 : 該当

**海上輸送 (IMDG-Code)**

国連番号 (UN number) : UN 3077  
国連輸送名 (Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.  
(Lenacil)  
国連分類 (Class) : 9  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : 9  
EmS コード (EmS Code) : F-A, S-F  
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant) : 該当

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**

供給された状態の製品には非該当。

**国内規制**

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

**特別の安全対策**

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

**15. 適用法令****関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。



版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

---

### 化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

### 労働安全衛生法

#### 製造等が禁止される有害物

非該当

#### 製造の許可を受けるべき有害物

非該当

#### 健康障害防止指針公表物質

非該当

#### 変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

#### 変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

#### 名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

#### 名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

#### 特定化学物質障害予防規則

非該当

#### 鉛中毒予防規則

非該当

#### 四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

#### 有機溶剤中毒予防規則

非該当

#### 労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

#### 毒物及び劇物取締法

非該当

#### 化学物質排出把握管理促進法

#### 2023 年 3 月 31 日まで

非該当

#### 2023 年 4 月 1 日から

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

非該当

**高圧ガス保安法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 有害性物質

**航空法**

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: その他の有害物

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質

**水質汚濁防止法**

指定物質 (法第 2 条 4 項、施行令第 3 条の 3)

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:**

TCSI : インベントリーに収載されている、または準拠している

TSCA : TSCA インベントリに登録されている物質を含む製品。

AIIC : インベントリーに従わない

DSL : この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。

レナシル

Amorphous alumina silicate

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに従わない

PICCS : インベントリーに従わない

IECSC : インベントリーに従わない

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

NZIoC : インベントリーに従わない

TECI : インベントリーに従わない

## 16. その他の情報

中毒の緊急問い合わせ先: (公財) 日本中毒情報センター 中毒 110 番

一般市民専用電話 (大 阪) 072-727-2499 (情報料無料) 365 日 24 時間対応  
(つくば) 029-852-9999 (情報料無料) 365 日 9~21 時対応

医療機関専用有料電話 (大 阪) 072-726-9923 (一件 2000 円) 365 日 24 時間対応  
(つくば) 029-851-9999 (一件 2000 円) 365 日 9~21 時対応

日付フォーマット : 年/月/日

### その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)  
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均  
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度  
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-C : 最大許容濃度

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50% 阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50% 致死濃度; LD50 - 50% 致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性 (物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2022/08/04	50000147	初回作成日: 2018/05/01

---

### 免責条項

FMC Corporation は、本書に含まれる情報および推奨事項（データおよび記述を含む）は、本書の日付時点において正確であると考えています。FMC Corporation に連絡し、本書が FMC Corporation から入手可能な最新情報であることを確認してください。ここで提供される情報に関して、明示または黙示を問わず、特定の目的への適合性、商品性の保証、またはその他の保証は一切行われません。ここで提供される情報は、指定された特定の製品にのみ関連するものであり、その製品が他の素材と組み合わせて、または任意の手順で使用される場合は適用されない場合があります。使用者は、製品が特定の目的に適合し、使用者の使用条件と使用方法に適しているかどうかを判断する責任があります。使用者の使用条件および使用方法は FMC Corporation の管理が及ばない範囲にあるため、FMC Corporation は、製品の使用または製品情報への依存から得られた、または生じた結果に関して、一切の責任を負わないものとします。

JP / JA